

令和5年度シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
選択 B (冷凍機)	2 単位	3	選択	設備工業科

1 科目の目標

熱源機器（冷凍機）に関する基礎的な知識や理論を習得させ、建築及び設備全般について学習する。

2 教科書

空気調和設備（文部科学省）

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	熱源機器（冷凍機）に関する諸問題について関心を持ち、また、意欲的に取り組み、創造的・実践的な態度を身に附けています。	出席状況、学習態度（教科書ノート）提出物
思考・判断	熱源機器（冷凍機）に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に附けています。	ペーパーテスト（計算力、思考力）
技術・表現	熱源機器（冷凍機）に関する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	ペーパーテスト（表現力、思考力）
知識・理解	社会における熱源機器（冷凍機）の意義や役割を理解し、それに関する基礎的な知識を身に附けています。	課題発表における表現力や文章力

4 評価の方法

各教科の評価は1, 2学期が100点法（素点）、3学期が5段階評価で出される。
評価の規準としては、定期考査（中間考査・期末考査）、臨時考査（小テスト等）、提出物（ノート、課題プリント等）、日々の授業態度や出席状況をみます。

定期テスト 60 %	出席 20 %	態度・提出物 20 %
------------	---------	-------------

評価記載方法 ・ 100点法 ・ 5段階評価	評価内容	100点法	5段階評価
	特に高い程度	100-80	5
	上と中の中間	79-65	4
	ほぼ達成	64-50	3
	中と下の中間	49-35	2
	特に不十分	34-0	1

5. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学 期	4 5 6 7	26	空気調和設備 第1章 空気調和の基礎 第1節 空気調和の方式 第2節 冷房・暖房負荷	・空気調和設備の方式、熱源機器（冷凍機）及び 冷暖房負荷に関する諸課題について関心を持ち、 また、意欲的に取り組み創造的・実践的な態度を 身に付ける。。	・定期考查 ・単元テスト ・行動観察
1学期の評価方法				定期考查、勤怠状況で総合的に評価する。	
2 学 期	9	8	空気調和設備 第1章 空気調和の基礎 第3節 湿り空気の状態	・湿り空気線図から設置すべき機器の選定に関する諸課題の解決を目指し自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に付ける。	・定期考查 ・単元テスト ・行動観察
	10 11	16	第2章 空気調和装置の構成 第1節 空気調和装置 第2節 中央式・個別式 空気調和機	・空調機やそれに組み合わせる熱源機器（冷凍機、ボイラー）に関する技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	
	12	8	第3節 空調機の制御	・設置された空気調和機の電源に関する基礎的知識を習得し、自ら思考を深め意欲的に取り組む態度を養う。	
2学期の評価方法				定期考查、勤怠状況で総合的に評価する。	
3 学 期	1 2	12	第5章 第4節 塗装工事 第5節 試運転・検査・ 引き渡し	・空調機や冷凍機廻りの塗装工事に関する基礎的な技術を身に付け、さらに機器設置後の試運転調整・検査・引き渡しまで流れを理解させる。	・定期考查 ・単元テスト ・行動観察
3学期の評価方法				定期考查、勤怠状況で総合的に評価する。	